

四年生 国語 学習プリント

四年 組 名前



白いぼうし

あまん きみこ作 ころろ 美保子 絵

教科書 p16

○人物の様子を表す言葉に気をつけて、音読しましょう。

○それぞれの場面に書かれていること、つながりを見つけてみましょう。

○声に出して三回読みましょう。

○この物語は、一行空きによって場面が四つに分かれています。表に書かれているページ数を見て、確認しましょう。

場面	ページ
一場面	上 P 16 ・ 1 行目 ～ 上 P 17 ・ 11 行目
二場面	上 P 18 ・ 1 行目 ～ 上 P 20 ・ 6 行目
三場面	上 P 20 ・ 8 行目 ～ 上 P 22 ・ 5 行目
四場面	上 P 22 ・ 7 行目 ～ 上 P 24 ・ 12 行目

○この物語には、だれが登場するでしょう。教科書をよく読んで、場面の登場人物を書き出してみましょう。

場面	登場人物
一場面	
二場面	
三場面	
四場面	

○ 松井さんに、どんな出来事が起こったかを、登場人物の様子を表す言葉に着目して、場面ごとに整理しました。
 葉を教科書からさがして、表の [] に当てはまる言葉の中に書きましよう。

松井さんに起きた出来事

	<p>お母さんが、もぎたての夏みかんを速達で送ってくれました。「あまり [] ので、 [] のを、この車にのせてきたのですよ。」と、お客さんに話しました。</p>
一場面	<p>お母さんが、もぎたての夏みかんを速達で送って来ました。「あまり [] ので、 [] のを、この車にのせてきたのですよ。」と、お客さんに話しました。</p>
二場面	<p>松井さんが、白いぼうしをとたん、ふわっともんしろちょうが飛び出しました。松井さんは、ぼうしをつかんで [] をつきました。松井さんは、にがしてしまったかわりに、夏みかんに [] と、飛ばないように、石でつばをおさえました。</p>
三場面	<p>車にもどると、女の子が [] 後ろのシートにすわっていました。男の子が、新しい虫とりあみをかかえて近づいてくると、女の子が後ろから [] 、早く行ってちょうだい。」と言うので、 [] アクセルをふみました。</p>
四場面	<p>松井さんは、「あの子がぼうしを [] 開けたときおどろいただろうな。」「ふふっ。」とわらいが [] 。ふり返ると、車の中にはだれもいませんでした。外を見ると、白いちょうが、 [] 、も [] っとたくさん飛んでいました。</p>

○ 次の(1)～(6)の文の——部のひらがなを漢字に直して、ていねいに書きましょう。

(1) しんごうが赤にかわる。

(1)

(2) そくたつで送る。

(2)

(3) 何かが とびだす。

(3)

(4) うんてんせき。

(4)

(5) 四角い たてもの。

(5)

(6) なのはながさいている。

(6)

☞ 「白いぼうし」(上p 29)でたしかめましょう。

この物語は「車のいろは空のいろ」シリーズの中にあるお話です。このシリーズには、「松井さん」が登場します。
上p 28・29に、本のしょうかいがあります。
同じ人物が出てくるシリーズの本を、ぜひ読んでみてくださいね。



○ 「学校が始まったら先生に聞きたいこと」「分からなかったこと・心配なこと」を書きましよう。

四年生 国語 学習プリント 解答

四年 組 名前



白いぼうし あまん きみこ作 こころ 美保子 絵

教科書 p16

○人物の様子を表す言葉に気をつけて、音読しましょう。

○それぞれの場面に書かれていることの、つながりを見つけましょう。

○声に出して三回読みましょう。

○この物語は、一行空きによって場面が四つに分かれています。表に書かれているページ数を見て、確認しましょう。

場面	ページ
一場面	上 P 16 ・ 1 行目 ～ 上 P 17 ・ 11 行目
二場面	上 P 18 ・ 1 行目 ～ 上 P 20 ・ 6 行目
三場面	上 P 20 ・ 8 行目 ～ 上 P 22 ・ 5 行目
四場面	上 P 22 ・ 7 行目 ～ 上 P 24 ・ 12 行目

○この物語には、だれが登場するでしょう。教科書をよく読んで、場面の登場人物を書き出してみましょう。

場面	登場人物
一場面	松井さん・お客のしんし
二場面	松井さん・(もんしろちよう)
三場面	松井さん・女の子 男の子(たけのたけお)・お母さん
四場面	松井さん・(白いちよう)

○ 松井さんに、どんな出来事が起こったかを、登場人物の様子を表す言葉に着目して、場面ごとに整理しました。
 葉を教科書からさがして、表の に当てはまる言葉の中に書きましよう。

	<p>松井さんに起きた出来事</p>
<p>一場面</p>	<p>お母さんが、もぎたての夏みかんを速達で送ってくれました。「あまり <input type="text"/> うれしかったので、 <input type="text"/> いちばん大きいのを、この車にのせてきたのですよ。」と、お客さんに話しました。</p>
<p>二場面</p>	<p>松井さんが、白いぼうしを <input type="text"/> つまみ上げた とたん、ふわっともんしろちようが飛び出しました。 松井さんは、ぼうしをつかんで <input type="text"/> ため息 をつきま した。松井さんは、にがしてしまったかわりに、夏み かに <input type="text"/> 白いぼうしをかぶせると、 飛ばないように、石でつばをおさえました。</p>
<p>三場面</p>	<p>車にもどると、女の子が <input type="text"/> ちよこんと 後ろ のシートにすわっていました。男の子が、新しい虫と りあみをかかえて近づいてくると、女の子が後ろから <input type="text"/> 乗り出して、「早く行ってちようだい。」と言 うので、<input type="text"/> あわてて アクセルをふみました。</p>
<p>四場面</p>	<p>松井さんは、「あの子がぼうしを <input type="text"/> そうつと開 けたときおどろいただろうな。」「ふふふつ。」とわらい <input type="text"/> がこみ上げてきました。ふり返ると、 車の中にはだれもいませんでした。外を見ると、白い ちようが、<input type="text"/> 二十も三十も、いえ、も っとたくさん飛んでいました。</p>

○ 花子さんは、「白いぼうし」を読んで、「ふしぎだなあ」「考えてみたいなあ」と思ったことを次のように書き出してみました。

- ① 女の子はどうして「早く行ってちょうだい。」と言ったのだろう。
- ② 女の子はなぜ消えてしまったのだろう。
- ③ 松井さんに聞こえた「よかったね。よかったよ。」という声はだれの声なのだろう。
- ④ どうして松井さんにその声が聞こえたのだろう。

○ 花子さんの「ふしぎだなあ」「考えてみたいなあ」と思ったことについて、あなたもいっしょに考えてみましょう。①～⑤の中から選んで、自分の考えを花子さんに話すように書いてみましょう。

えらんだ番号

- ① ③

例 三場面で、あみをもった男の子が近づいてくると、女の子が「早

く、おじちゃん。早く行ってちょうだい。」と二回も「早く」と言っているし「後ろから乗り出して」や「せかせか」という言葉をつなげると、とてもいそいでいることがわかります。男の子につかまるかもしれないと思ったから、急いだのではないかと思います。松井さんががしたちょうは、きっと、この女の子なのだと思います。

これは、四場面とつながっていて、女の子は、野原でなかまのちようと会えたから、「よかったね。」「よかったよ。」と会話したと思います。この会話も二回あって、たくさんの中かまがいたのだと思いました。

👉 物語のどの場面の、どんな言葉からそう考えたのかを書くとき、場面や言葉と自分の考えのつながりが分かりやすくなります。また、場面と場面、言葉と言葉をつないで考えるとよいです。

○ 次の(1)～(6)の文の——部のひらがなを漢字に直して、ていねいに書きましょう。

(1) しんごうが赤にかわる。

(1) 信号

(2) そくたつで送る。

(2) 速達

(3) 何かが とびだす。

(3) 飛び出す

(4) うんてんせき。

(4) 運転席

(5) 四角い たてもの。

(5) 建物

(6) なのはながさいている。

(6) 菜の花

☞ 「白いぼうし」(上p29)でたしかめましょう。

この物語は「車のいろは空のいろ」シリーズの中にあるお話です。このシリーズには、「松井さん」が登場します。
上p28・29に、本のしょうかいがあります。
同じ人物が出てくるシリーズの本を、ぜひ読んでみてくださいね。



○ 「学校が始まったら先生に聞きたいこと」「分からなかったこと・心配なこと」を書きましよう。